



ローレル



県立日立第一高等学校  
附属中学校  
学校だよりNo.151  
令和7年1月8日  
生徒数240名

教育目標:高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する。

# 1月

## 「再び干支の話」

校長 磯邊 裕一

新年に際して今年も「えと」のお話をしましょう。今年の干支は「巳」ですね。動物でいうとヘビです。正確には「乙巳きのとみ」といいます。これにはどのような意味があるのでしょうか。

干支は正確には十干十二支じっかんじゅうにしといい、十干と十二支を組み合わせて作る暦のことを言います。十干とは、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸であり、1から10を表し、日を順に10のまとまりで表すのに使いました。10日ごとに一旬といい、3つの旬、すなわち上旬、中旬、下旬で一か月になります。一方、古代中国では万物はすべて陰と陽に分けられるとする「陰陽説」と、万物はすべて木・火・土・金・水の5つの元素からなるとする「五行説」という思想がありました。これらを組み合わせて「陰陽五行説」と呼び、 $2 \times 5 = 10$ の要素を十干に当てはめるようになりました。中国から我が国にこの思想が輸入された後、陰と陽を兄と弟に見立て、「兄弟」と呼ぶようになりました。

十二支は、12か月を順に表す呼び方で、時刻や方位を表すのに使いました。もともと動物には関係なかったのですが、字が読めない古代の農民に分かりやすく説明するために動物のイメージを付けて、それが今まで残っているものと言われています。十干と十二支で順に年を数えると60年で元の組合せに戻ります。そこで、60年たつと、つまり60歳になると暦が戻る「還暦かんれき」になるのです。

今年の干支「乙巳きのとみ・おっし」は、暦の始まりである「甲子きのえね・かし」から数えて42番目に当たる干支です。「乙」は十干の2番目で、生命の循環で言えば、誕生間もなく窮屈にかがまっている状態です。ジグザグなものの象形しょうけいから、種から出た芽が地上に出ようとして曲がりくねった状態を表します。「巳」は十二支の6番目であり、胎児の象形から、胎児や種子を意味しており、草木の成長が極限に達した状態を表しています。陰陽五行思想では「乙」は木の陰、「巳」は火の陰であり、木は燃えて火を生むという関係性から両者は強め合い、「乙巳」は「伸び切った枝葉を糧にして、業火が起こる年」ということになります。成長が極限に達し、内包するエネルギーが爆発するような劇的な変化を引き起こす年と言われています。

3年生の皆さんは、残り少ない中学生生活を充実させ、集大成ともいえるシンガポール研修で更に成長してください。1、2年生の皆さんも努力を継続し、それが劇的な飛躍、成長につながる年になることを祈念します。

### 1月の主な予定

7日(火) 休業明け集会  
9日(木) 委員会  
10日(金) 適性検査準備 (給食なし)  
11日(土) 適性検査  
13日(月) 成人の日  
14日(火)～15日(水) 自宅学習※  
16日(木)～17日(金) 第4回外部模試  
21日(火)～22日(水) 自宅学習※  
23日(木) 合格発表  
30日(木)～31日(金) 第4回定期考査  
※14・15・21・22日は、中学入学者選抜事務のため自宅学習となります。

### 2月の主な予定

6日(木) 委員会  
8日(土) 入学予定者説明会  
10日(月) 第2回PTA全体委員会  
11日(火) 建国記念の日  
16日(日)～21日(金) 3年海外語学研修  
23日(日) 天皇誕生日  
24日(月) 振替休日  
26日(水) 高校学力検査前日準備  
27日(木) 高校学力検査 (自宅学習)  
28日(金) 高校特色選抜 (自宅学習)  
※2月27・28日および3月3・4・10・11日は、高校入学者選抜事務のため自宅学習となります。

### 《 全国1位 科学の甲子園ジュニア 》

中学生が科学の知識やその活用能力を競う「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」が、12月13日(金)から15日(日)の3日間、兵庫県姫路市のアクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)で開催され、県立並木中等教育学校と県立日立第一高等学校附属中学校の合同チームが茨城県代表チームとして参加しました。

出場した生徒たちは、今年の課題や過去問題に取り組んだり、日立理科クラブの先生方から指導を受けたりするなど、全国大会に向けて努力を重ねてきました。

その結果、総合成績第1位など、多くの賞を得ることができました。

総合成績第1位 (文部科学大臣賞、トヨタ賞)  
筆記競技第2位 (内田洋行賞)  
実技競技①第1位 (東芝賞)  
企業特別賞 (帝人賞)

これまでご指導、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 《 いばらきっ子郷土検定 県大会出場 》

茨城県教育委員会では、郷土への愛着や誇りを高め、郷土愛を醸成するとともに広く本県の魅力発信を図るために、「いばらきっ子郷土検定」を毎年実施しています。

10月下旬に県内の中学2年生が一斉にチャレンジした「いばらきっ子郷土検定」の結果が先日発表され、本校の2年生が県立・国立・私立卒の代表として県大会に出場することになりました。6年連続になります。

県大会は、県内市町村代表校44校と国立・県立・私立の代表校1校(本校)の計45校の参加により、2月1日(土)に開催されます。ぜひ好成績を収めてほしいと思います。

応援よろしくをお願いします。